

## 会議録

会議の名称	令和元年度第1回野洲市子育て支援会議
開催日時	令和元年5月31日(金) 10時00分から12時00分まで
開催場所	野洲市役所 本館3階 第1委員会室
<b>【出席者の氏名等】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・野洲市子育て支援会議委員※順不同、欠席なし(◎:会長 ○:副会長) 森嶋利成委員、深尾望委員、湊景子委員、橘岡委員、岡本恵利華委員 山口桂子委員、○水谷威彦委員、◎前川頼子委員、辻川眞由美委員、八木芳良委員、安田亮委員</li><li>・事務局側出席者 市:山仲市長、赤坂健康福祉部政策監、田中健康福祉部次長、 こども課:井狩課長、鎌田課長補佐、宮崎課長補佐、西村課長補佐、中野 受託業者:懶ぎょうせい 中井主任研究員、井川主査</li><li>・傍聴者1名</li></ul>	
<b>【会議の目的・主旨】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・<b>審議</b> (1) 野洲市子ども・子育て支援事業計画の本年度の計画について <b>【資料3】</b> (2) 第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画の骨子案(第1章から第4章第3節まで)について <b>【資料4】</b> (3) 第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画における量の見込みについて <b>【資料5、5-①~②】</b></li><li>・<b>報告</b> (1) 野洲市子ども・子育て支援事業計画(現行計画)の評価と課題の整理について <b>【資料6、6-①】</b> (2) 野洲市子ども・子育て支援にかかるヒアリング調査について <b>【資料7、7-①~③】</b></li></ul>	
<b>【審議結果】</b> <p>(1) 野洲市子ども・子育て支援事業計画の本年度の計画について</p> <p>→資料3に基づいて事務局より説明を行い、本年度の計画について承認が得られた。 質疑応答については以下のとおり。</p> <p>質問:基本目標2の事業番号1「家庭教育に関する学習機会や情報提供の充実」について、計画を遂行する主体はどこなのか。計画内容では「講演会を行う」、「合同研修会を実施する」などとなっており、PTAが主体なのであれば、この計画に関する情報をPTAと共有する必要がある。</p> <p>回答:本年度の計画の内容は、各事業の担当課に照会した結果を記載しており、ご指摘のように、担当課と関係団体が連携して計画を進めていく必要がある。担当課にはご指摘の意見をフィードバックする。</p>	

(2) 第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画の骨子案（第1章から第4章第3節まで）について

→資料4に基づいて事務局より説明を行い、骨子案について継続審議とした。  
質疑応答については以下のとおり。

質問①：資料4の19ページの基本理念について、委員の意見を反映することは可能か。

回答①：この基本理念は、第一期計画から継続するものとした提案であり、委員からのご意見等があれば内容について検討したい。

質問②：19ページ本文の文章について、繰り返す表現があるので、その箇所は例えば「同様に」等の表現にすれば、分かりやすく、読みやすいものになるのではないか。

回答②：分かりやすい表現、読みやすい表現となるよう文章を整理する。

質問③：27ページに国の施策の子育て安心プランの概要が掲載されている。待機児童ゼロを維持しつつ女性就業率80%に対応できる施設整備とあるが、女性が仕事をすることは大事なことで、また、3歳までは各家庭で子育てをすることも子どもの成長にとって大事なことである。家庭での子育てを行うための、また3歳から幼稚園を利用しながら子育てを行うための、さらなる支援をお願いしたい。

回答③：19ページの第1節基本理念の本文中に、“子育てについての第一義的責任は、父母その他の保護者が有するという基本的な認識の下”という考え方を述べさせていただいており、この認識の下、計画の基本理念の実現を目指すこととしている。次回会議以降、幼稚園を利用しているご家庭などへの支援として、魅力ある教育・保育について考えていきたい。

質問④：20ページの基本目標の文章において、一文が長く、主語と述語の関係がわかりにくく、わかりやすくしてほしい。子育て世代等への支援に関することが書かれているので、市民がこれを読んで理解できるよう、表現してほしい。

回答④：表現、文章を分かりやすくするよう整理し修正する。

質問⑤：20ページの基本目標の2「子どもの生きる力を育む環境づくり」の本文中の「体得」という表現について、別の表現では「会得」という言い方もできる。望ましい表現にしてほしい。

回答⑤：表現について再考する。

(3) 第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画における量の見込みについて

→資料5、5-①～②に基づいて事務局より説明を行い、量の見込みについて継続審議とした。質疑応答については以下のとおり。

意見：量の見込みには、ニーズ調査結果に基づく推計と実績値に基づく推計の2つの推計があり、2つの量の見込みに大きな差があるものについては、その要因などを分析した上で、検討する必要があるのではないか。

質問：資料5-①ニーズ調査結果に基づく推計シート及び資料5-②実績値に基づく推計シートのそれぞれに、平成31年度の量の見込みが記載されており、数値は同じものとなっているが、なぜ同じ数字なのか。

回答：平成31年度の量の見込みの数値は、まず第一期計画策定時に推計したものであり、その後に平成29年度の間見直しを行った際の数値となっている。このことから資料5-①及び②で掲載している数値は当該数値であって同じものとなっている。今回資料に記載したのは、第一期計画の実績値と比較しやすく、また第二期計画の量の見込みとも比較しやすくなるようにしたためである。

#### 【報告事項】

(1) 野洲市子ども・子育て支援事業計画（現行計画）の評価と課題の整理について

・資料6、6-①に基づき、現行計画の評価と課題、計画の総括に関する説明を行った。

(2) 野洲市子ども・子育て支援にかかるヒアリング調査について

・資料7、7-①～③に基づき、実施中または今後実施するヒアリング調査の実施要領等について報告を行った。

#### 【その他】

・次回の会議は、令和元年7月26日（金）10：00～市役所2階の庁議室で開催する。

#### 【提出された主な資料等】

- ・資料1：野洲市子育て支援会議名簿（第3期）
- ・資料2：野洲市子育て支援会議条例及び規則
- ・資料3：野洲市子ども・子育て支援事業計画の事業計画進捗管理
- ・資料4：野洲市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度から令和6年度)【計画骨子案】  
(第1章から第4章第3節まで)
- ・資料5：野洲市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度から令和6年度)各事業の「量の見込み」の推計方法等について
- ・資料5-①：第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画 ニーズ調査結果に基づく量の見込み推計シート
- ・資料5-②：第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画 実績値のトレンド等に基づく量の見込み推計シート
- ・資料6：野洲市子ども・子育て支援事業計画（現行計画）の評価と課題の整理について
- ・資料6-①：野洲市子ども・子育て支援事業計画 事業計画の総括
- ・資料7：野洲市子ども・子育て支援にかかるヒアリング調査について
- ・資料7-①：野洲市子ども・子育て支援にかかる小学生アンケート要領
- ・資料7-②：野洲市子ども・子育て支援にかかる中学生インタビュー要領
- ・資料7-③：野洲市子ども・子育て支援にかかる事業者等調査要領
- ・参考資料：「第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画」の構成（案）

